

③ 戦略的な誘客の展開

③ スポーツキャンプ等の誘致

- スポーツキャンプ・合宿の誘致から歓迎まで関係機関が連携し官民一体となった取組の推進
- 「薩摩おいどんリーグ」などの継続的なイベント支援を通じた地域活性化に向けた取組の推進

④ 外国人観光客の来訪の促進等

- 現地セールスや旅行エージェント（旅行業者）・メディア等の招請・訪日教育旅行の誘致など、ターゲットとする市場に応じた誘客の展開
- 消費単価が高い傾向にある旅行者をはじめとする外国人観光客の来訪を促進するための受入環境の整備の推進
- 国際航空路線網の維持・拡充や新規路線の開設、定期便の就航を見据えた国際チャーター便の就航の促進

⑤ クルーズ船の誘致

- 鹿児島本土のみならず、多くの魅力にあふれる離島も巡るクルーズ船の誘致促進
- 官民連携によるクルーズ船の受入環境・体制の整備
- 水上交通や新幹線を活かしたツアー造成などによる寄港地観光の広域化・高質化

⑥ マイクロツーリズムの促進

- 県民一人ひとりが鹿児島の自然や文化に親しみ、鹿児島ならではの魅力の再認識につなげるためのマイクロツーリズムの促進
- マイクロツーリズムを通じて再認識した郷土の豊かな魅力を広く発信することによる、更なる誘客の促進

⑦ 相互交流の促進

- 長年にわたり交流を続けている香港、シンガポール、韓国全北特別自治道、中国江蘇省、米国ジョージア州、英国自治体のほか、新たな交流先であるベトナム・ハイズオン省、台湾屏東県との相互交流の充実に向けた取組を推進するなど、姉妹・友好交流等の促進
- 県民のパスポート取得の促進

④ 県民総ぐるみでのおもてなしの推進

① 全ての観光客がストレスなく快適に観光できる環境の整備

- 観光施設等のバリアフリー化やユニバーサルツーリズムの促進
- 分かりやすい案内標識や無料公衆無線LAN（無料Wi-Fi）環境の整備の促進
- 公共交通機関の予約・決済サービスやデジタルチケット等を提供する九州MaaSの取組の促進
- 多言語コールセンターの活用促進
- 宿泊事業者における顧客予約管理システム（PMS）等の導入の促進
- フードダイバーシティへの対応の推進

② 観光を担う人材の育成・確保

- 観光ボランティアガイドの組織化と研修の促進
- 若年者の県内就職や外国人材の受入れを含めた観光従事者確保に向けた取組の促進
- 観光関連事業者に対するデジタル化、業務効率化のためのソフトウェア等の導入の促進

③ 啓発・学習の推進

- 郷土の歴史、伝統、文化、自然環境等をテーマとした学習機会の充実

④ 観光旅行の安全の確保

- 安全安心なまちづくりの推進
- 災害時や感染症発生時の観光客への情報提供

基本目標

将来の本県の姿

多彩な宝物が輝くテーマパーク「南の宝箱 鹿児島」
～観光の「稼ぐ力」の向上～

第5 「観光立県かごしま」の実現に向けて

1 推進体制

- 基本方針の趣旨や内容の周知を行い、地域における主体的な取組や他の地域と連携した広域的な取組が展開されるよう努める。
- 「鹿児島県観光立県推進会議」において、各委員の意見を踏まえながら、関係者と一体となった取組を進め、基本方針に基づく施策を総合的かつ計画的に推進する。

2 進行管理

- 推進期間の中間年度を令和9年度、最終年度を令和11年度とし、それぞれの年度までの施策の実施状況・成果を取りまとめる。
- これらを検証し、「鹿児島県観光立県推進会議」の意見を聞きながら、必要に応じて基本方針の見直しを行い、基本目標の実現を図る。



鹿児島県観光・文化スポーツ部PR観光課
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1
TEL 099-286-2994 FAX 099-286-5580



鹿児島県観光振興基本方針

「観光立県かごしま県民条例」に基づく基本方針

（第四期）
令和7年3月



鹿児島県観光振興基本方針【第4期／体系図】

〔観光立県かごしま県民条例第8条に基づく基本方針〕
観光立県の実現に関する主要な施策を総合的かつ計画的に推進するため策定



第1 基本的な考え方（「観光立県」の意義・基本方針の性格等）

県、市町村、観光関係事業者、観光関係団体、県民等が観光立県の実現に向けて取り組むべき施策のよりどころとなるもの

第2 本県観光を取り巻く現状と課題

1 本県観光を取り巻く現状

社会環境の変化

- 本格的な人口減少・少子高齢化が進行する中、コロナ禍後も、観光は成長戦略の柱、地域活性化の切り札
- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光関連産業を取り巻く状況は大きく変動
- コロナ禍を経た旅行需要の変化
- R5.3月「観光立国基本計画」策定、質の向上を重視した観光への転換

本県観光の動向

- 奄美大島・徳之島の世界自然遺産登録、「出水ツルの越冬地」のラムサール条約湿地登録、和牛日本一獲得、かごしま国体・大会、総文祭の開催
- 県のキャッチコピー「南の宝箱 鹿児島」の決定
- コロナ禍では観光関連産業は非常に厳しい状況、観光需要喚起策に取り組み徐々に回復
- 鹿児島空港国際線定期便の運航再開、クルーズ船寄港実績回復
- 「薩摩おいどんリーグ」の開催等スポーツを通じた交流人口の増加、R7大阪・関西万博を契機とした誘客促進

2 「観光立県かごしま」の実現に向けた課題

- 1 本県の多彩な観光資源の魅力の発信とWeb等を活用したプロモーションの展開
- 2 本県の観光資源の活用と持続可能な観光地域づくりの推進
- 3 国内外の観光客の嗜好をしっかりと捉えた戦略の構築と誘客の展開
- 4 観光客を温かく迎え入れるおもてなしの向上と観光を担う人材の育成・確保

第3 「観光立県かごしま」の実現に向けた目標

〈推進期間〉
令和7年度から令和11年度までの5箇年

主な指標		参考(令和元年(度))	参考(令和5年(度))	目標(令和11年(度))
1 観光の「稼ぐ力」の向上	経済波及効果	約3,756億円	約2,985億円	5,400億円
	観光消費額	約2,929億円	約2,295億円	4,100億円
2 宿泊者数を増やす	①延べ宿泊者数	約837万人泊	約815万人泊	995万人泊
	②うち外国人延べ宿泊者数	約84万人泊	約36万人泊	155万人泊
3 クルーズ船による観光客を増やす	クルーズ船乗客数	約29万人	約14万人	69万人
4 観光客の満足度を高めリピーターを増やす	再訪希望	約78%	約88%	100%

参考指標(令和6年度)

推奨意向 60%

第4 「観光立県かごしま」の実現に関する施策

- ※「観光立県かごしま」を実現するために、観光の担い手が一丸となって「施策の体系」に基づいた施策を展開
- ※施策の展開に当たっては、観光DX(情報発信、観光マーケティングデータの活用、経営のDX化の推進等)の視点、SDGs(持続可能な開発目標)の理念及び17の目標を踏まえた実施に努める。

施策の体系及び施策の展開例

1 国内外におけるプロモーションの展開

1 「南の宝箱 鹿児島」を活用したプロモーションの展開

- 「南の宝箱 鹿児島」を活用した統一的な情報発信
- 観光客との間で継続的な信頼関係を築くための双方向の情報交流の推進
- 県全体を1つのテーマパークと捉えて、観光地やイベント等のコンテンツを時間軸、空間軸で一体的に集約したプラットフォームの構築・情報発信

2 Web等を活用したプロモーションの展開

- SNS等によるデータ分析に基づいた情報発信
- 特定の分野に興味・関心がある層を対象とした情報発信
- 国内在住の外国人による情報発信を通じた認知度向上

2 魅力ある癒やしの観光地の形成

1 地域の観光資源の保全、活用及び創出等

- 地域の観光資源の魅力をつなぐ周遊型観光ルートの形成の促進
- 3つの世界遺産の活用や保全を踏まえた取組の促進
- 観光資源(景勝地、史跡、観光施設、各種イベント等)の更なる磨き上げ
- 地域の伝統行事、イベント等を活用した地域住民と観光客との交流の創出
- 離島の魅力及び特性を生かした食や体験プログラムの開発などの着地型観光の促進
- 観光情報等を一元化したプラットフォームの活用による観光資源の連携の促進

2 地域の特性を生かした良質なサービスの提供の確保

- 3つの世界遺産や一流の景観・豊富な食材を生かした長期滞在も可能なリゾート地の形成
- 生産者と観光関係事業者等が連携した地場農林水産物の活用の促進

3 観光関係施設等の整備

- 地域の特性を生かした個性的で潤いある街並み景観等の形成の促進
- 外国人観光客等が楽しめる魅力ある観光地の整備促進
- 観光客の多様なニーズに対応した観光施設や宿泊施設の整備の促進
- 地域公共ネットワークの充実、高規格道路の整備や空港・港湾の機能向上など、国内外を結ぶ交通ネットワークの利便性向上

4 持続可能な観光地域づくりの推進

- 地域の多様な関係者が連携した「稼げる観光地域づくり」を推進するための組織づくり及び人材育成の支援、観光推進体制の見直し
- 観光関連事業者の生産性の向上のためのデジタル化の推進
- オーバーツーリズムを未然に防ぐ人数規制や利用分散の仕組みづくり

5 観光地域の高付加価値化

- 長期滞在や観光消費額の増加につながるようなコンテンツの造成
- 地域の素材を繋ぎ合わせて、ストーリー化した旅行商品の造成、運営及び販売ができるコーディネーター人材の育成支援
- ハイブランドホテルの誘致等

6 地域の特色を生かした多様な旅行分野の開拓等

- グリーン・ツーリズム、ブルー・ツーリズム、アドベンチャーツーリズムなど着地型・体験型観光の推進や、デジタル技術と観光資源の融合等による新たな観光コンテンツやサービスの創出などのスマートツーリズムなどの新たな分野の観光旅行(ニューツーリズム)の推進
- ロケツーリズム、ファンツーリズム、酒蔵ツーリズム、サイクルツーリズム、インフラツーリズムなどテーマ別観光の推進

7 観光振興施策を実施するための財源に関する検討

- 観光振興施策を安定的かつ継続的に実施するため、必要性を含めた財源に関する検討

3 戦略的な誘客の展開

1 観光客の来訪の促進等

- 観光客の視点に立った観光情報等を一元化したプラットフォームの構築
- 旅行エージェンツ(旅行業者)、航空会社、鉄道会社等との連携による宣伝・誘致活動の推進
- 大阪・関西万博(令和7年)や西郷隆盛生誕200年・没後150年記念イベント(令和9年)等の多彩なイベントを活用した誘客の促進
- 環境教育や平和教育などに活用できる自然・歴史・文化等の資源を活かした県内外からの修学旅行を含む教育旅行の誘致の促進

2 マーケティングに基づく効果的な誘客

- 本県観光の動向や観光消費の実態、観光客のニーズの把握
- デジタルマーケティングの実施、マーケティングの結果に基づいたプロモーション活動の展開